

## 2017年度 事業報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

### 1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会、各地域団体との連携により地域まちづくりの課題解決と人材育成に重点を置き取り組んできた。

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

###### ア マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

- ・内 容 昨年度は、マンション入居者への支援はルネ追浜の子育て講座にNPO法人として支援で参加した。ルネ追浜もザ・パークハウス追浜もマンション側からNPOに依頼があるときの動いていくというスタンスなのでとくに目立った活動はできなかった。
- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 ルネ追浜およびザ・パークハウス追浜など
- ・従事者人員 当法人の役員、会員 延べ10人
- ・受益対象者 ルネ追浜やザ・パークハウスなどマンション居住者 500人
- ・支 出 額 0円

###### イ 空き家・空き店舗プロジェクト

- ・内 容 本年度も、関東学院大学と連携した空き家プロジェクトに引き続き協力した。「おっぱまのま」(追浜南町)で7月31日に開催された「おかみさんキッチン」は関東学院大学主催のため佐島から人を招いていたが、追浜にも深浦漁港があることを伝えて、担当の兼子准教授と深浦漁港との仲介を行なった。空き家・空き店舗の活用について法人独自の活動については、なお情報収集に努めている。
- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 追浜地域内
- ・従事者人員 当法人の役員、会員、関東学院大学 教員、学生等 約50名
- ・受益対象者 追浜地域空き家・空き店舗所有者、地域住民、関東学院大学学生
- ・支 出 額 3,090円

##### ② 地域資源の保存・活用に関する事業

###### ア 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・内 容 この1年の見学者数は毎月第一日曜日の一般公開日で653人(1回当たり54人)団体見学者277人(10団体)合わせて930人と2010年開場以来最高の見学者数となった。なお、イベント協賛公開を行ってきたY・フェスタ追浜、アイクルフェアでは悪天候による中止が相次いだ。

本遺構は2013年市重要文化財に指定されたが指定理由、価値などを紹介する案内看板が設置されておらず早急の設置を市に再々要請してきた。その結果、近々神奈川県的重要文化財指定が決まるのでそれにあわせて案内看板を設置する旨市当局から回答

を引き出した。

\*なお、3月16日の神奈川県公報で神奈川県指定重要文化財指定が公示された。崩落懸念箇所（探照灯の一部）につき文化財の補修観点から教育委員会の早急な対応を要請したが、調査、視察が1度あっただけで今期は進展がなかった。徐々に崩落が進んでおり暫定的に立ち入り禁止措置とっているが早急な対応を市当局に要請した。

- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 夏島都市緑地
- ・従事者人員 当法人役員、会員等延約150人、なお、おっぱまはっけん倶楽部会員の協力を求めた。
- ・受益対象者 追浜在住、近隣住民その他見学を希望する一般市民
- ・支出額 0円

#### イ 追浜の自然や歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容 追浜地域フィールドミュージアムは、追浜全域の新たなエリアポイントを探るため、『地域の人と考える』セミナー等の予定をしたが、十分な実態調査ができなく開催に至らなかった。  
貝山地下壕は、一般公開に先立ち追浜地域運営協議会の下に貝山部会が設置され、横須賀市の担当課とNPO法人アクションおっぱまを含む地元関係団体とで必要事項の検討がなされている。この部会の下に地元関連団体による貝山資料検討部会が設置され、『貝山地下壕見学のしおり』改定等の準備が進められている。  
新たに注目した鷹取エリアは、鷹取山の資料を集め検討概要を作成し、当NPO法人内で意見交換を行った。その内容は、翌年度の事業活用に反映することとした。  
また、鷹取石は、関の入を経て向河岸に石材として運ばれ東京等に出荷されたことから、関連する鷹取川の下流から源流を散策しフィールドミュージアムの調査を行った。  
「おっぱまはっけん倶楽部」は、地域資源の発見に関する試みがあるため写真展の情報交換の際、鷹取山の調査等の連携もお願いした。

鷹取山の自然等の景観保全、保存は、湘南鷹取の町内会や山に関わる各団体に協力を呼びかける予定が、地域との連携が不十分なため協議の場を設ける事が出来なかった。

- ・日 時 2017年4月～2018年3月
- ・場 所 追浜地域内
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延べ20名
- ・受益対象者 追浜地域住民及び近隣住民、登山愛好団体等
- ・支出見込額 0円

#### ウ 新しい案内板の設置事業

- ・内 容 2016年10月地域運営協議会により広域案内板「おっぱまガイド」が設置され、当法人およびおっぱまはっけん倶楽部有志が傘下の看板部会として参加し実質設置の主役として活動した。今期は第2弾として「おっぱまガイド」のハンディタイプのエリアマップ作成と誘導版の設置を看板部会で策定提案したが地運協の事業とはならなかった。かわりに、当法人とおっぱまはっけん倶楽部による独自の活動に切り替え以下2点に注力した。
  1. エリアマップとして「おっぱまぶらり散歩」を作成しお勧め散歩コースを具体的に紹介することにしてコース別下見をしてマップに反映させ利用者が楽しんで歩ける実用マップに仕上げつつあること。

2. 主な見どころの案内看板の設置に動いたこと。今期は行政センターの協力を得て浦郷公園内に「横須賀風物百選-榎戸湊跡」の案内板を設置した。

- ・ 日 時 2017年4月～2018年3月
- ・ 場 所 第三海堡遺構周辺、追浜地域内
- ・ 従事者人員 当法人役員のほか、おっぱまはっけん倶楽部有志と協働。
- ・ 受益対象者 追浜地域住民および追浜を訪れる人々
- ・ 支 出 額 0円

エ 追浜ふるさと写真展とふるさと写真の募集（平成29年度横須賀市NPO補助金）

- ・ 内 容 平成29年度横須賀市NPO補助金を得て、追浜地域の歴史研究グループ・おっぱまはっけん倶楽部」と協働でNPOとしては2度目になる追浜の写真展を開催することとした。NPO法人及びおっぱまはっけん倶楽部スタッフ約20数名で開催決定より当日まで約10か月間に及ぶ取り組みであったが、結果は非常に好評で次回開催を望むアンケート結果の声が多かった。  
写真の蒐集にあたってはスタッフ自身が撮影に出向き、また各方面への借用依頼、購入等で入手。開催日17日の午後にはビデオ上映会も行った。写真の内容は来場者の年代を考慮し明治から平成の新旧の場面对比させ、地域の自然も新たに紹介し、たくさんの方に来場してもらうため週末の開催とした。尚、会場の使用については市民サークルの協力を頂いた。
- ・ 日 時 2018年3月16日（金）～18日（日）
- ・ 場 所 追浜行政センター南館一階
- ・ 従事者人員 NPO法人理事、おっぱまはっけん倶楽部会員20名
- ・ 受益対象者 追浜地域住民及び近隣住民等594人（会期中入場者）
- ・ 支 出 額 95,209円（補助金 106,000円）

③ 地域の活性化に関するイベント事業

ア おっぱまワイン寄席

- ・ 内 容 追浜地域内での開催が課題となっていた「第14回おっぱまワイン寄席」は、追浜地域運営協議会の後援を得ることで、コミュニティセンター北館の集会室を使用することが可能になった。「おっぱまワイン」のPRと、追浜で一流の芸能を手ごろな料金でとの趣旨が浸透し、多くの方の参加を得て今年も盛況のうちに終えることができた。
- ・ 日 時 2018年3月28日
- ・ 場 所 追浜コミュニティセンター北館3階集会室
- ・ 従事者人員 当法人役員、会員等10人程度
- ・ 受益対象者 追浜地域住民等 参加者176名
- ・ 支 出 額 293,065円

イ 私のこみせ

- ・ 内 容 月1回の出店者の会議（こみせオーナー会議）を行い、春秋2回のワゴンセールを開催した。「私のこみせ」ホームページを活用しPRを図った。
- ・ 日 時 こみせオーナー会議毎月第2火曜日  
ワゴンセール 春 4月19日 21日、秋 10月16日 18日
- ・ 場 所 こみゆに亭カフェ
- ・ 従事者人員 当法人役員、会員等 2名

- ・受益対象者 追浜地域住民等 ワゴンセール参加者 約120名
- ・支出額 1,000円

#### ウ こみゆに亭カフェ等を活用したイベントの実施

- ・内容 こみゆに亭カフェの活用については、追浜地域包括支援センターほかの組織との連携でのミニ健康講座等検討したが日程他の条件が揃わず見送った。特にこみゆに亭の営業日が週4日間になったこと、又飲食店利用客が増え専用する条件が難しくなったことにもよる。
- ・日時 2017年4月～2018年3月
- ・場所 こみゆに亭カフェ等
- ・従事者人員 当法人役員、学生会員等 5、6名
- ・受益対象者 追浜地域住民、地域大学生等
- ・支出額 0円

#### ④ まちづくりの人材育成に関する事業

##### ア 学生のまちづくり活動支援

- ・内容 関東学院大学とは、今年度も「空き家プロジェクト」に関わる学生の追浜での活動や、外国人留学生や一般学生が、教養課程で追浜の街歩きを取り入れた授業の実施を支援した。また人間共生学部新井ゼミナールの追浜情報紙Oppamagramの編集に協力した。そのほかには、横浜市内の県立高校2年生1名が、理事長の講演（横浜市内）を聞いて興味を持ち、申し込みがあったので2月にこみゆに亭カフェを中心に研修を行った。
- ・日時 2017年4月～2018年3月
- ・場所 追浜地域
- ・従事者人員 当法人役員、会員など10名
- ・受益対象者 関東学院大学学生、県立高校生等約30名
- ・支出額 0円

##### イ 各種団体との交流と人材育成の実施

- ・内容 追浜地域の団体では、(協)追浜商盛会、追浜地区社会福祉協議会、追浜工業会等の団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動をして来た。追浜地域内では、「湘鷹みんなの部屋」1周年に当たって開催された総会に有志が出席して交流を深めた。追浜地域包括支援センターの第2回地域包括ケア会議には都合が合わず参加できなかったが、次回は参加したい。地域外からの視察は、神奈川居住支援協議会(12月15日 10名)と協同組合中華街パーキング(2月13日 3名)の2件であった。
- ・日時 2017年4月～2018年3月
- ・場所 こみゆに亭カフェ、当法人事務所など
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延べ10名
- ・受益対象者 横須賀市内外のNPO法人、追浜地域の各種団体
- ・支出額 0円

以下の事業は、NPO法人アクションおっぱまが(協)追浜商盛会と協力して行う。

#### ⑤ 酒類の醸造及び販売事業

ア 横須賀おっばまワインの醸造販売

- ・内 容 おっばまワイン昨年より 84 本少ない 2,282 本であった。おっばまワインケーキは 300 本少ない 480 本だったが、おっばまワインカレーを新発売し、順調な売れ行きで、ワイン、ケーキの減少をカバーした。ワインの名称問題に税務署とヒアリングを継続的に行った。
- ・日 時 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日
- ・場 所 こみゆに亭カフェ他
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延約 60 名
- ・受益対象者 追浜地域住民
- ・支 出 額 0 円

⑥ 地域の特産品の製造及び販売事業

ア 地域特産品の製造計画

- ・内 容 「平成 28 年度横須賀市 NPO 補助金」で、「おっばま雷おこし」を製造、販売の計画を検討したが、業界へのネットワークもなく、又小ロットでの製造も難しく販売価格のコスト割れが考えられた。しかし現在、地域商店街の努力で、追浜ワインを素材のワインカレー、飲食店の横須賀タンメン、横須賀ビール等徐々に地域名産も出来つつあるので NPO としても何らかの協力をしていく。
- ・日 時 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日
- ・場 所 追浜地域内
- ・従事者人員 当法人役員、会員、追浜地区住民、約 10 名
- ・受益対象者 追浜地域住民、追浜への来外者
- ・支 出 額 0 円

広報等に関する事業

ア NPO 法人アクションおっばまの会報「あんず通信」の年 2 回の発行を行った。

- ・ページ数と発行部数：4 ページ (A4 版)、150 部
- ・支 出 額 40,000 円

イ 各種冊子の販売

『東京湾第三海堡物語』『貝山地下壕見学のしおり』『追浜トンネル物語』『絵地図 おっばま再発見』といった各種冊子の販売を行った。なお、『貝山地下壕見学のしおり』は、貝山地下壕の再公開に向けて、追浜地域運営協議会貝山部会の下に「貝山資料検討会」が設置され、ここで改訂の準備が始められた。当法人はこれに協力している。

『絵地図 おっばま再発見！』は残部僅少となったが、本格的な増刷は難しいので、適宜コピーした。

- ・支 出 額 3,000 円 (コピー代)

ウ 地域情報誌の発行

この事業については他地区の情報をつかむので終わってしまった。

- ・支 出 額 0 円

以上